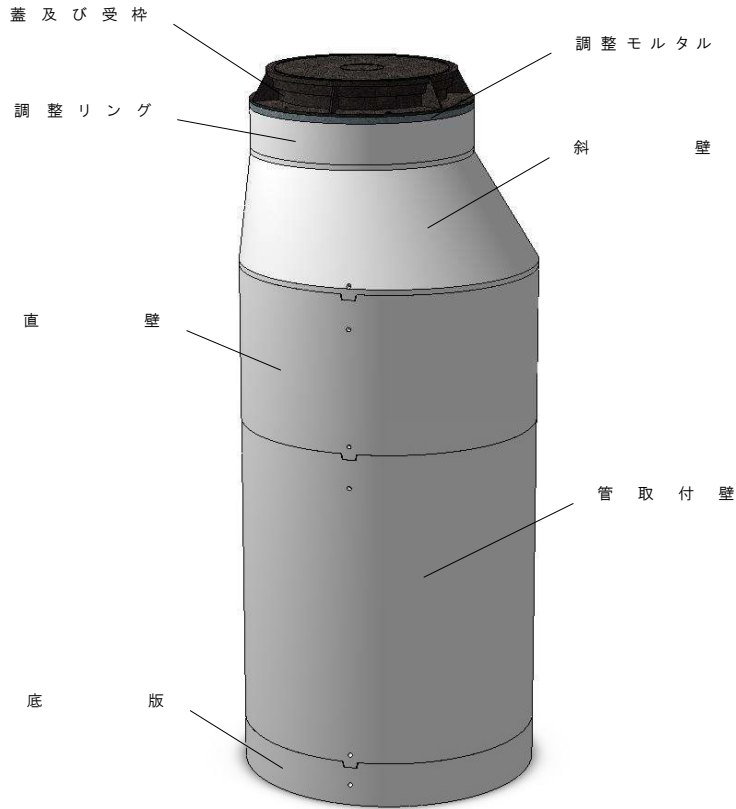
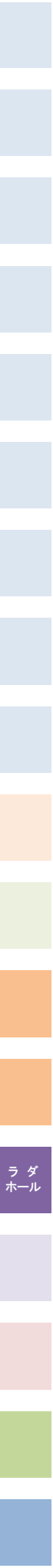
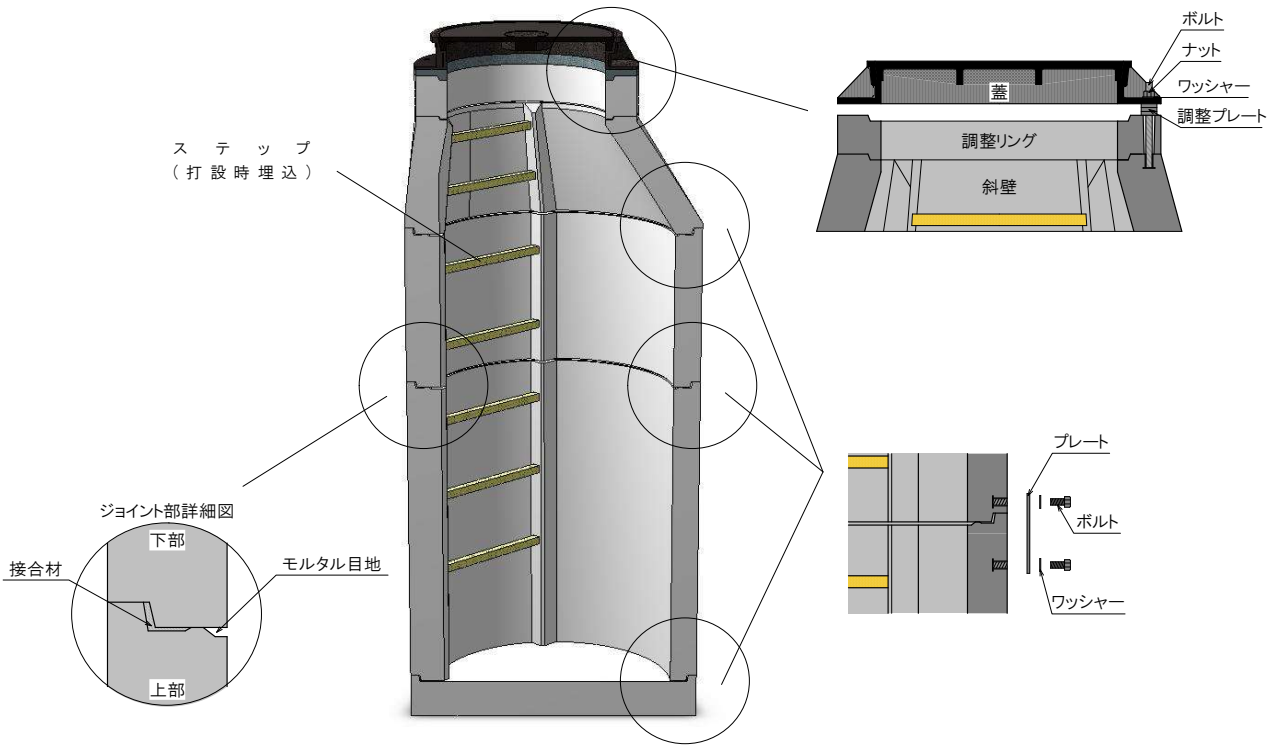
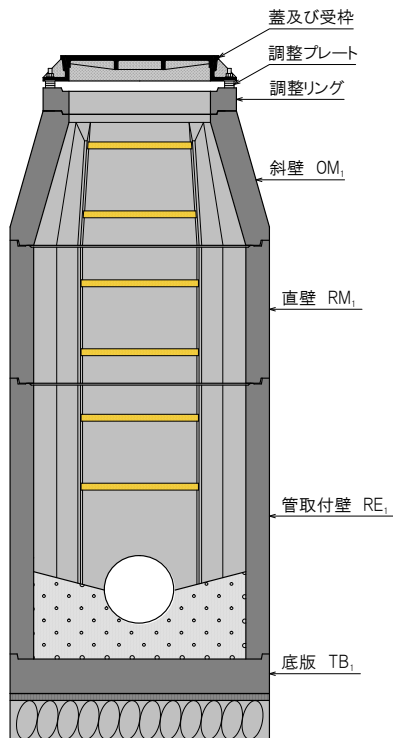
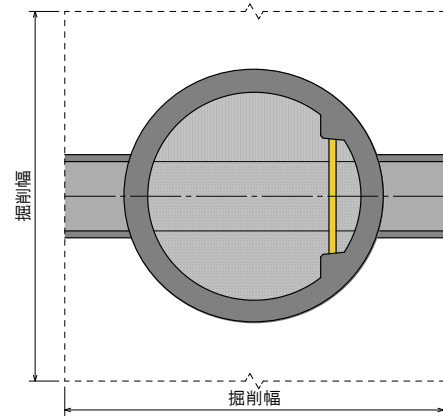
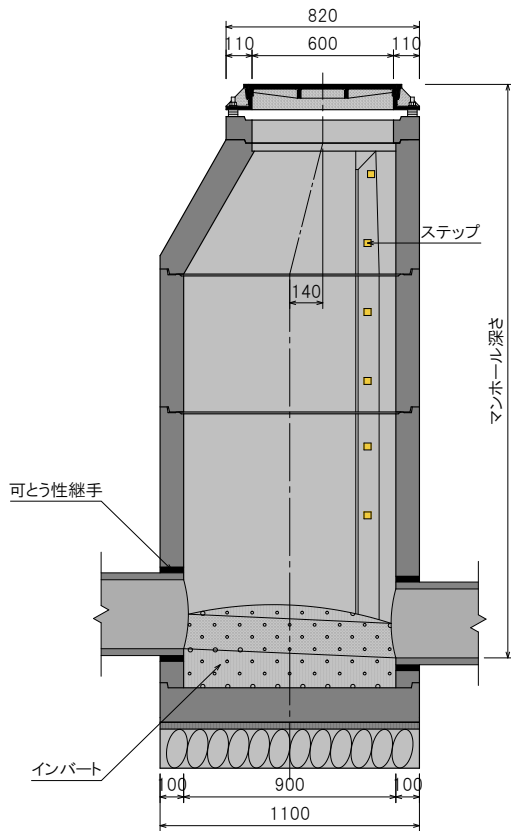


○主要部材名称



○断面図とジョイント部詳細図



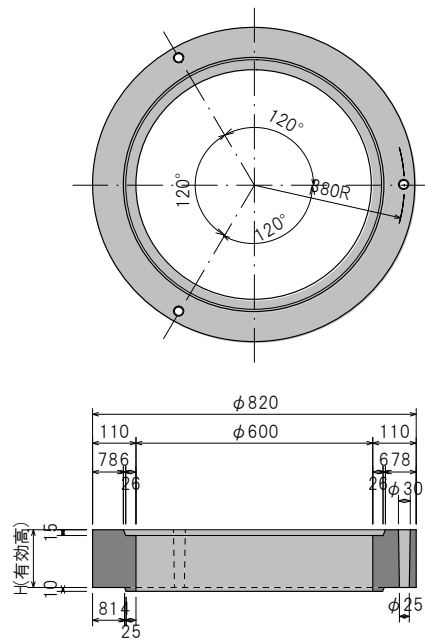


○主要部材の種類と呼び名

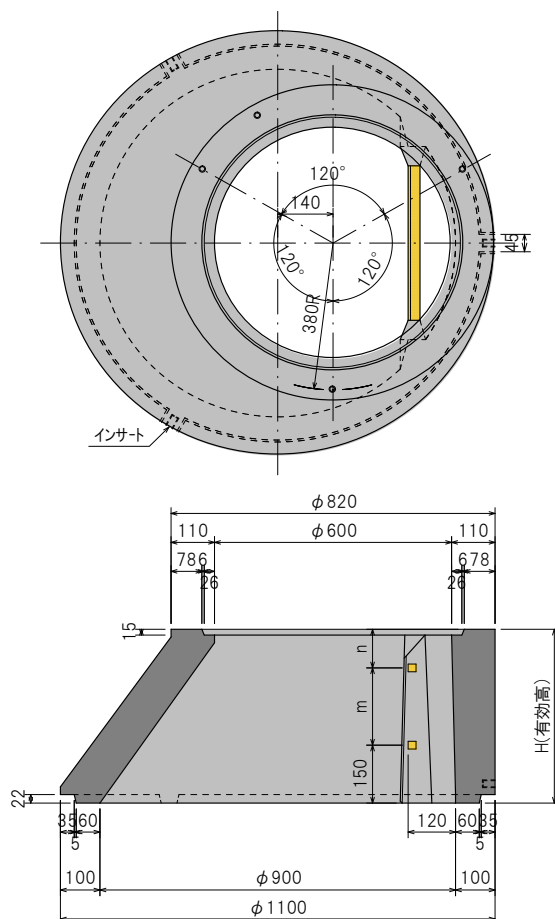
種類	呼び名	
	記号	高さ(cm)
蓋	—	—
受枠	—	—
調整リング	AR	10,15,20
斜壁	OM ₁	30,45,60
直壁	RM ₁	30,60,90,120,150,180
管取付壁	RE ₁	60,90,120,150,180
底版	TB ₁	15
床版斜壁	—	15

○使用部品名

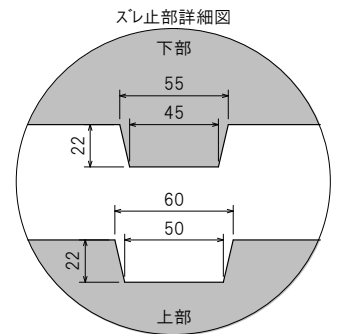
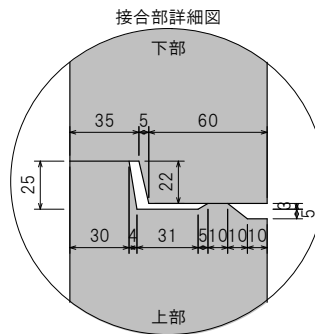
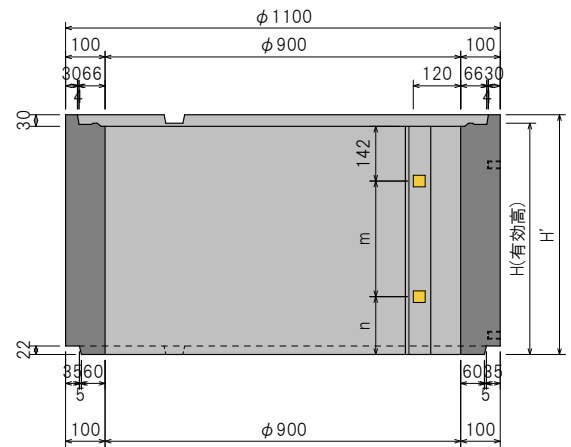
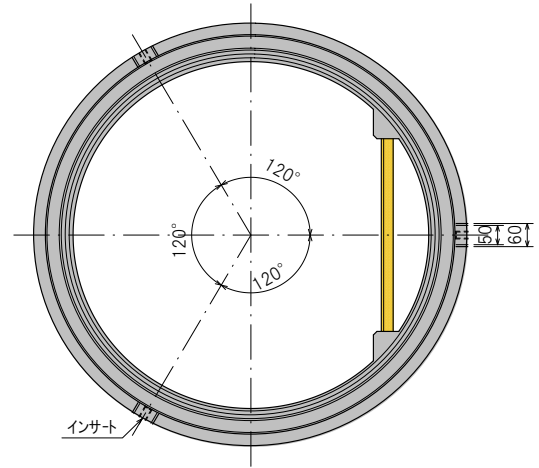
使用箇所	部品名
蓋及び受枠	緊結ボルト
	ナット
	ワッシャー
	調整プレート
各部材の接合部	プレート
	ワッシャー
	ボルト
	接合材(ラダシール)
	補助材(プチルテープ)



呼び名	参考重量 (kg)	寸法 (mm) H(有効高)
AR-10	59	100
AR-15	88	150
AR-20	118	200

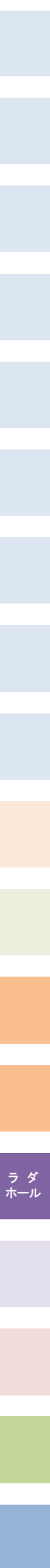


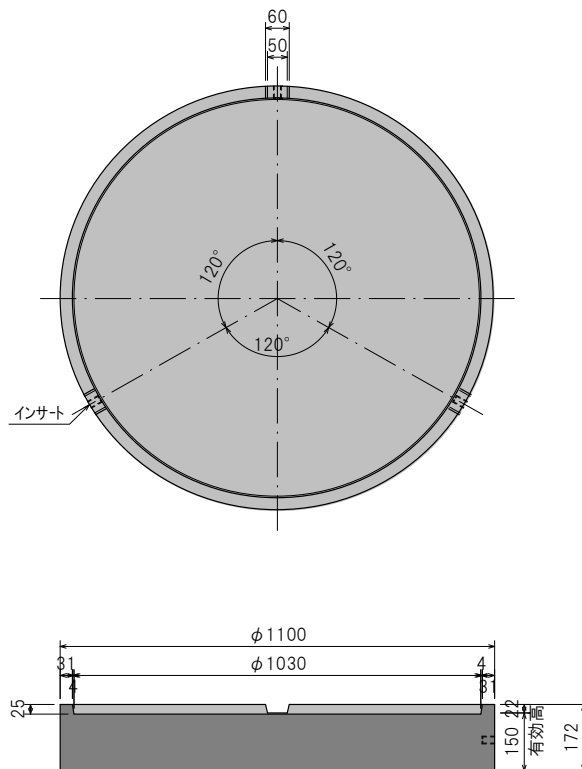
呼び名	参考重量 (kg)	寸法 (mm)		
		H(有効高)	m	n
OM ₁ -30	182	300	—	150
OM ₁ -45	312	450	200	100
OM ₁ -60	413	600	300	150



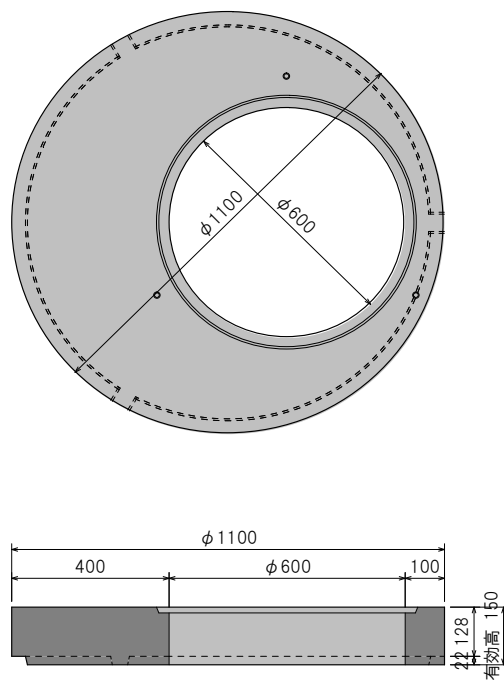
	呼び名	参考重量 (kg)	寸法 (mm)			ステップ数 (本)
			H(有効高)	H'	m	
直壁	RM ₁ -30	230	300	322	—	1
	RM ₁ -60	460	600	622	300	2
	RM ₁ -90	690	900	922	300	3
	RM ₁ -120	920	1200	1222	300	4
	RM ₁ -150	1150	1500	1522	300	5
	RM ₁ -180	1380	1800	1822	300	6
管取付壁	RE ₁ -60	460	600	622	300	1
	RE ₁ -90	690	900	922	300	2
	RE ₁ -120	920	1200	1222	300	3
	RE ₁ -150	1150	1500	1522	300	4
	RE ₁ -180	1380	1800	1822	300	5

※管取付壁の重量は、参考重量より管箱抜重量を差し引いた重量とする。



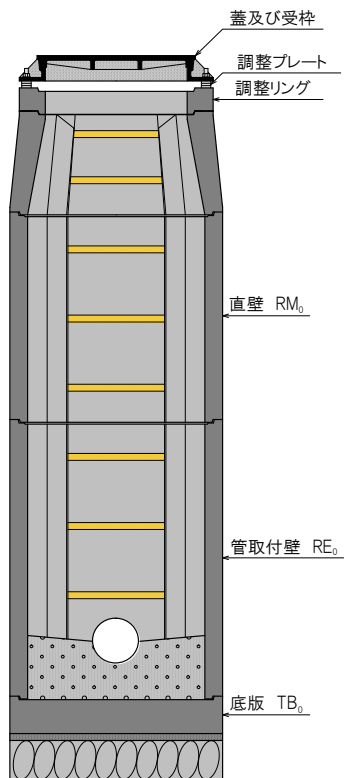
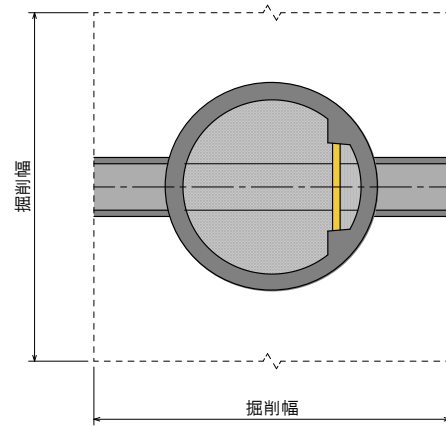
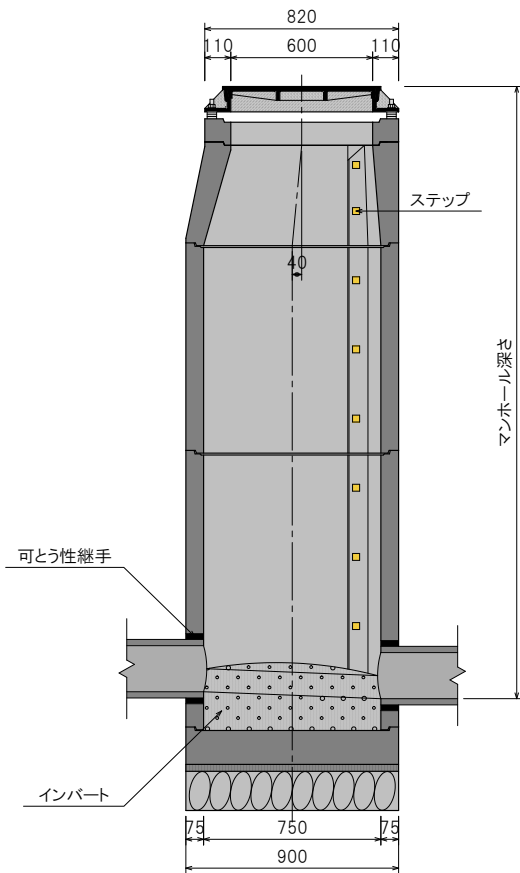


呼び名	参考重量 (kg)
TB ₁	353



呼び名	参考重量 (kg)
床版斜壁	241

(I種)

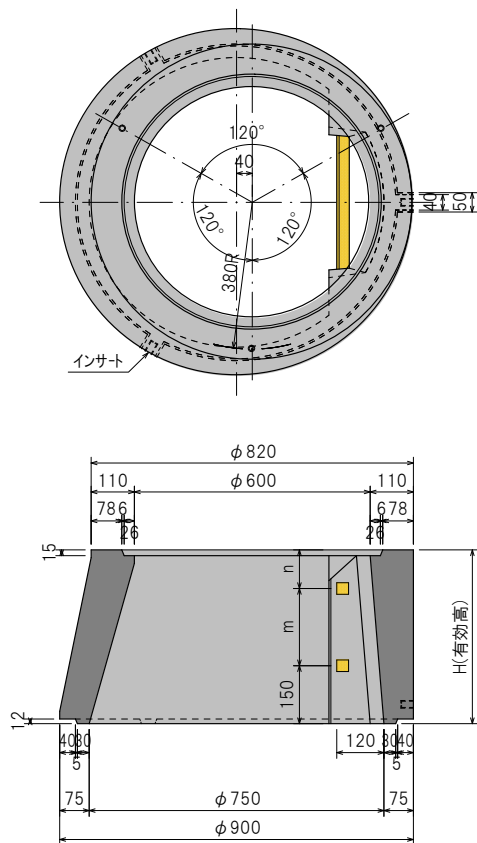


○主要部材の種類と呼び名

種類	呼び名	
	記号	高さ(cm)
蓋	—	—
受枠	—	—
調整リング	AR	10,15,20
斜壁	OM ₀	30,45,60
直壁	RM ₀	30,60,90,120,150,180
管取付壁	RE ₀	60,90,120,150,180
底版	TB ₀	15

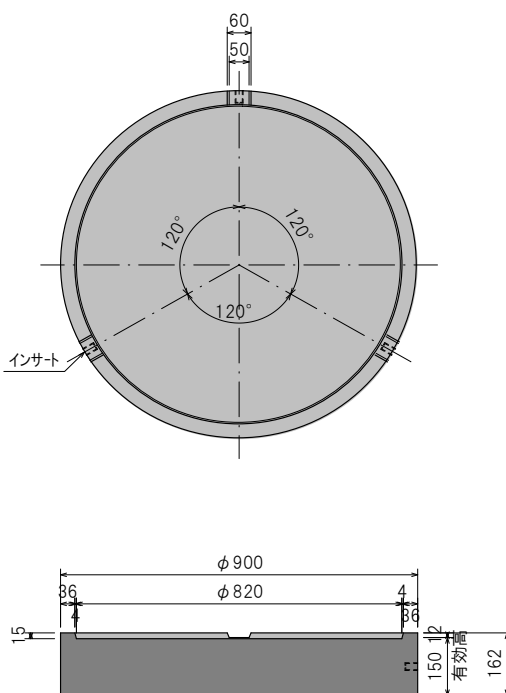
○使用部品名

使用箇所	部品名
蓋及び受枠	緊結ボルト
	ナット
	ワッシャー
	調整プレート
各部材の接合部	プレート
	ワッシャー
	ボルト
	接合材(ラダシール) 補助材(プチルテープ)

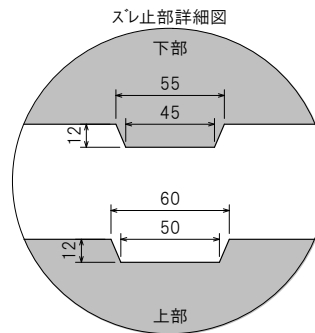
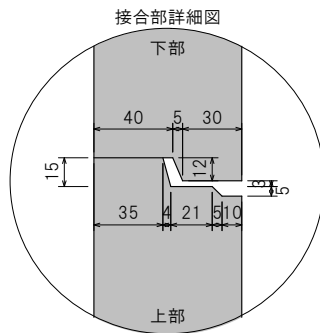
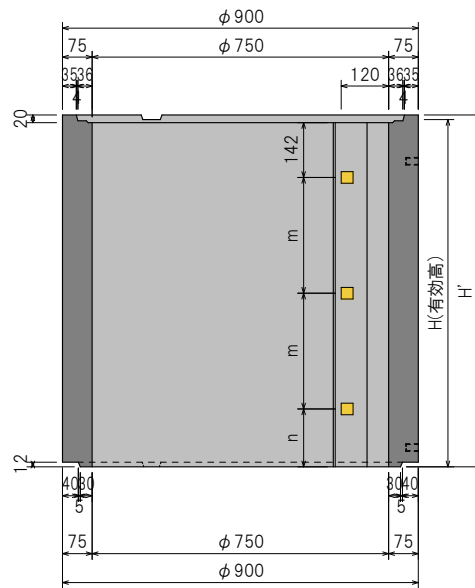
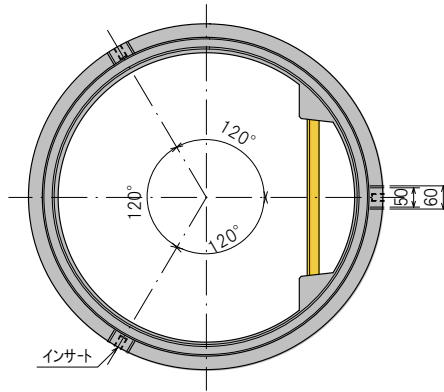


呼び名	参考重量 (kg)	寸法 (mm)		
		H(有効高)	m	n
OM ₀ -30	176	300	—	150
OM ₀ -45	273	450	200	200
OM ₀ -60	361	600	300	100

※OM₀-30の型枠は現在所有しておりません。



呼び名	参考重量 (kg)
TB ₀	230



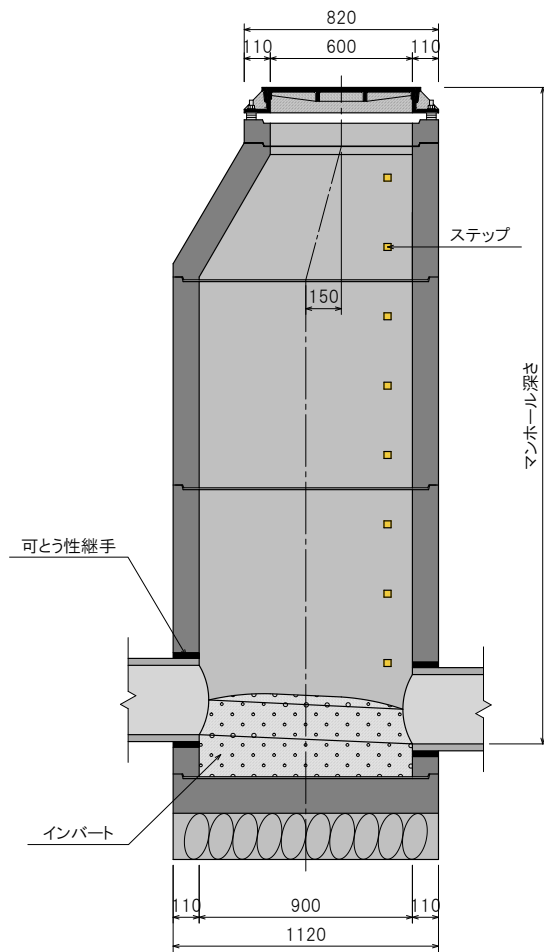
	呼び名	参考重量 (kg)	寸法 (mm)			ステップ数 (本)
			H(有効高)	H'	m	
直壁	RM ₀ -30	149	300	312	—	1
	RM ₀ -60	298	600	612	300	2
	RM ₀ -90	447	900	912	300	3
	RM ₀ -120	596	1200	1212	300	4
	RM ₀ -150	745	1500	1512	300	5
	RM ₀ -180	894	1800	1812	300	6
管取付壁	RE ₀ -60	298	600	612	300	1
	RE ₀ -90	447	900	912	300	2
	RE ₀ -120	596	1200	1212	300	3
	RE ₀ -150	745	1500	1512	300	4
	RE ₀ -180	894	1800	1812	300	5

※管取付壁の重量は、参考重量より管箱抜重量を差し引いた重量とする。

ラダホール〈楕円〉は狭小な場所での施工には、最適な製品です。

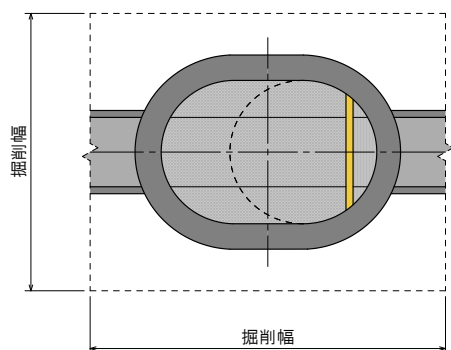
その楕円構造がラダホールの持つ性能をそのままに最小限の掘削幅を可能にし、

しかも良好な施工性を維持します。



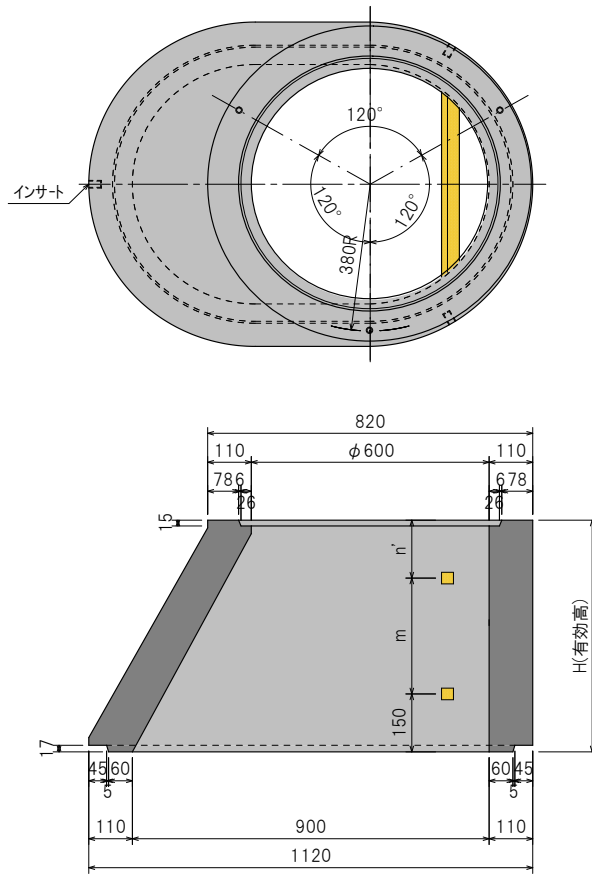
○主要部材の種類と呼び名

種類	呼び名	
	記号	高さ(cm)
蓋	—	—
受枠	—	—
調整リング	AR	10,15,20
斜壁	OM	30,45,60
直壁	RM	30,60,90,120,150
管取付壁	RE	60,90,120,150
底版	TB	15

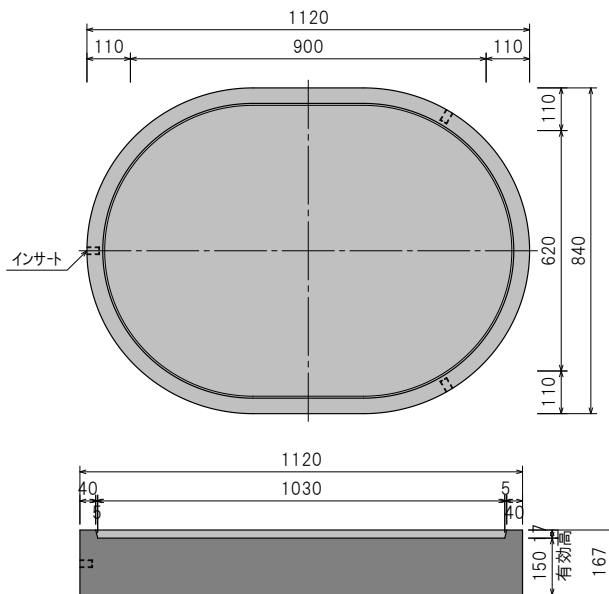


○使用部品名

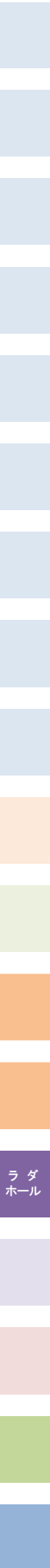
使用箇所	部品名
蓋及び受枠	緊結ボルト
	ナット
	ワッシャー
	調整プレート
各部材の接合部	プレート
	ワッシャー
	ボルト
	補助材(ブチルテープ)



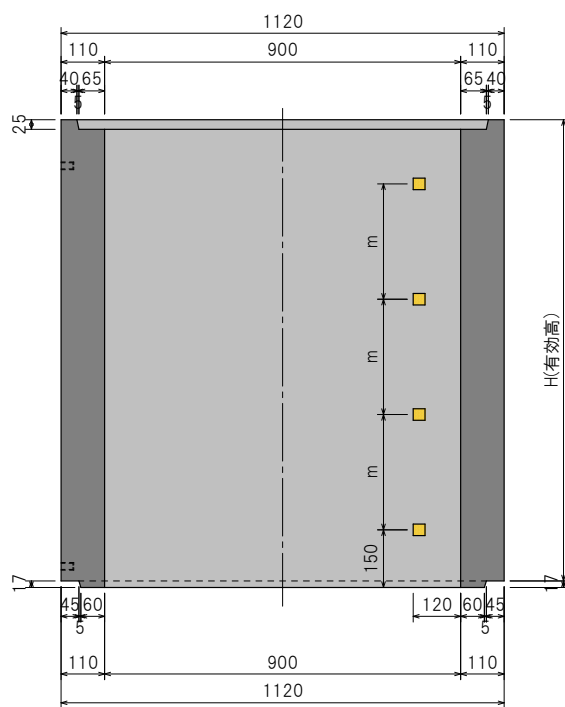
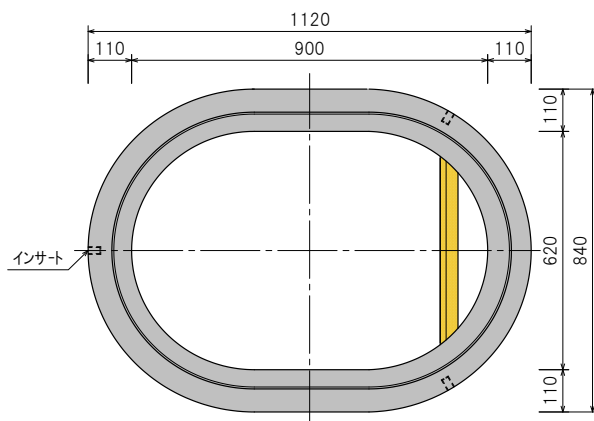
呼び名	参考重量 (kg)	寸法 (mm)		
		H(有効高)	m	n
OM-30	196	300	—	150
OM-45	294	450	200	100
OM-60	393	600	300	150



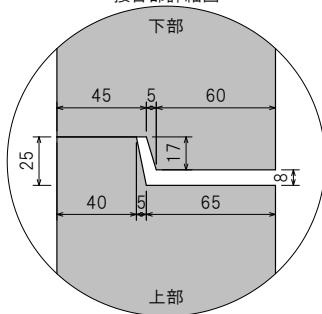
呼び名	参考重量 (kg)
TB-M	270



ラダホール



接合部詳細図



呼び名	参考重量 (kg)	寸法 (mm)		ステップ数 (本)
		H(有効高)	m	
直壁	RM-30	220	300	1
	RM-60	440	600	2
	RM-90	660	900	3
	RM-120	880	1200	4
	RM-150	1100	1500	5
管取付壁	RE-60	440	600	1
	RE-90	660	900	2
	RE-120	880	1200	3
	RE-150	1100	1500	4

※管取付壁の重量は、参考重量より管箱抜重量を差し引いた重量とする。

● マンホールの内面をすべて樹脂化した構造

マンホールを長寿命かつ高性能な構造にしました。

● 躯体の接合にはゴム製パッキンをナットで締め付ける構造

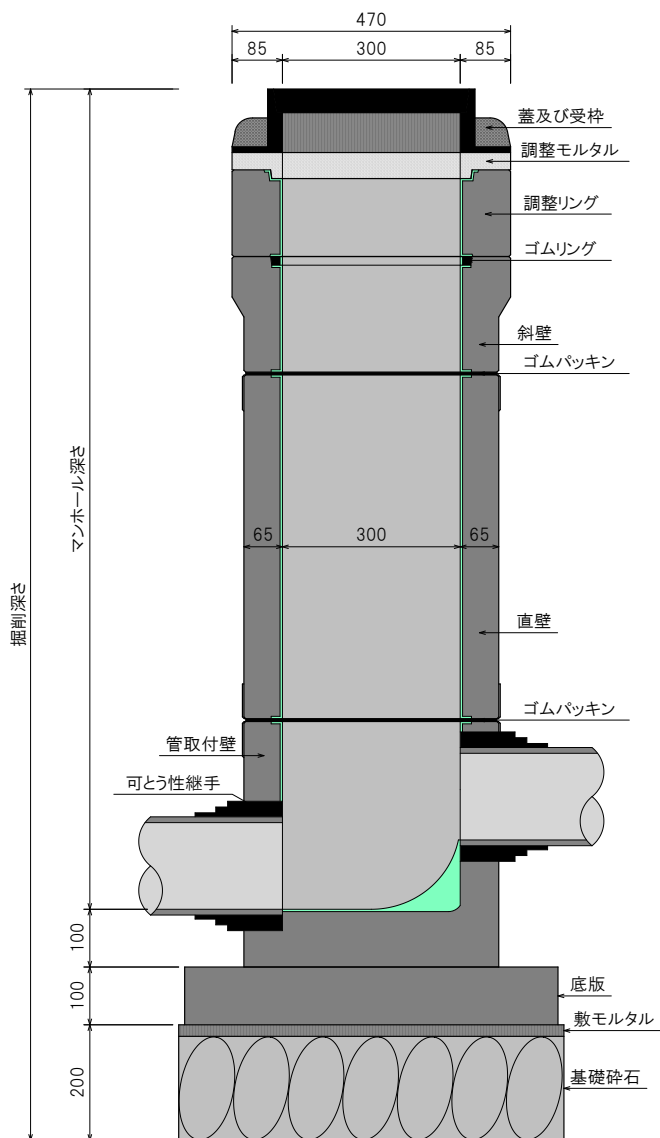
確実な止水性を有します。

● 接合剤等は使用しません

天候に左右されずに作業ができます。

● 本管接続部にはスペーサージョイントキラトを使用

レベル2地震動に対応しています。



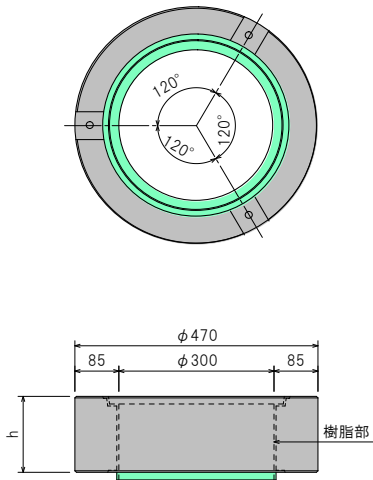
○主要部材の種類と呼び名

種類	呼び名	
	記号	高さ(cm)
蓋	—	—
受枠	—	—
調整リング	SHB30-R	10,15
斜壁	SHB30-T	15,20
直壁	SHB30-S	20,30,40,60,90
管取付壁	SHB30-B	40,60,80
底版	SHB30-P	10

○使用部品名

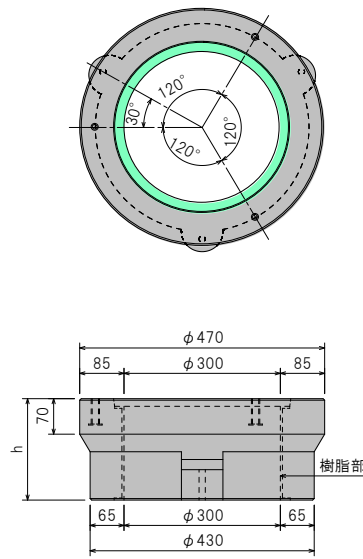
使用箇所	部品名
各部材の接合部	ナット
	ワッシャー
	緊結ボルト
	ゴムワッシャー
	ゴムリング
	ゴムパッキン

〈調整リング〉



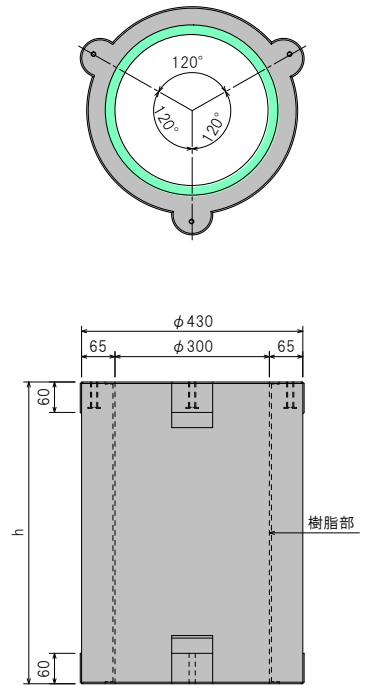
呼び名	参考重量 (kg)	寸法(mm)
		h
SHB30-R10	26	100
SHB30-R15	37	150

〈斜壁〉



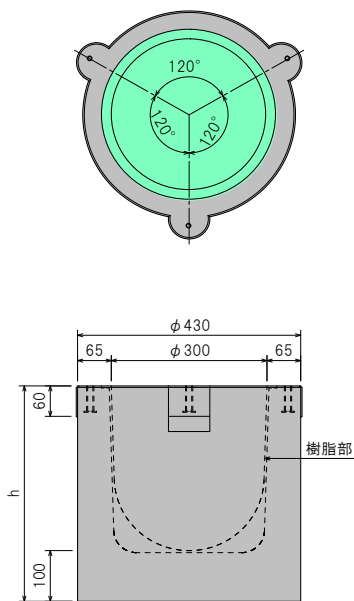
呼び名	参考重量 (kg)	寸法(mm)
		h
SHB30-T15	31	150
SHB30-T20	40	200

〈直壁〉



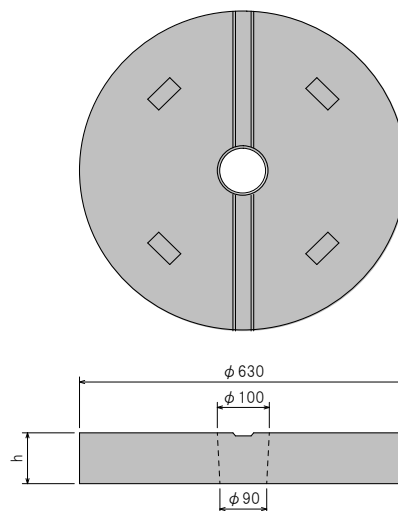
呼び名	参考重量 (kg)	寸法(mm)
		h
SHB30-S20	36	195
SHB30-S30	53	295
SHB30-S40	69	395
SHB30-S60	105	595
SHB30-S90	159	895

〈管取付壁〉

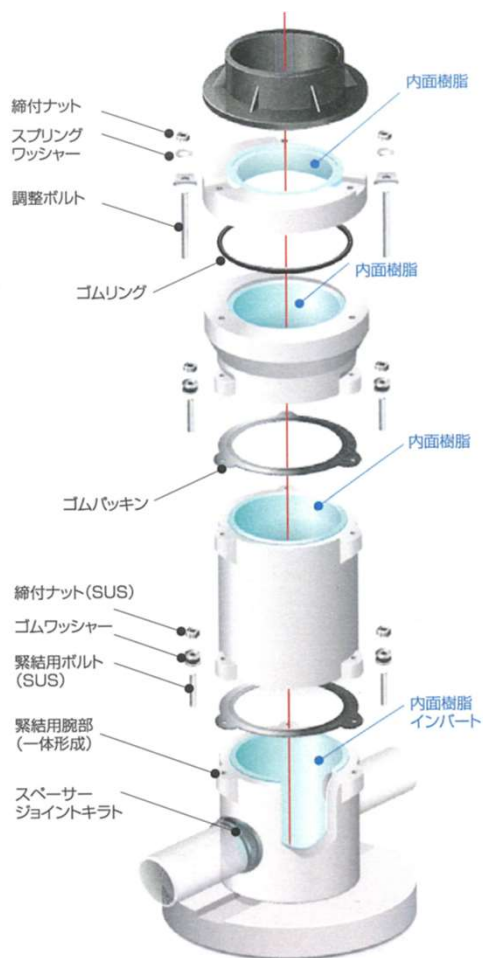


呼び名	参考重量 (kg)	寸法(mm)
		h
SHB30-B40	85	425
SHB30-B60	119	625
SHB30-B80	159	825

〈底版〉



呼び名	参考重量 (kg)	寸法(mm)
		h
SHB30-P	76	100



施工要領

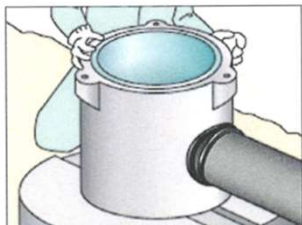
1. 基礎工



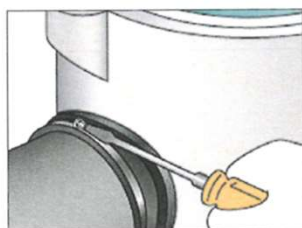
2. 底板設置



3. 管取付壁設置

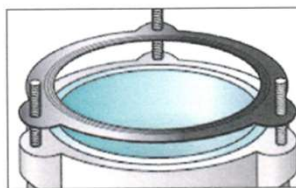


①管取付壁を押しながら、本管を可とう継手(スペーサージョイントキラスト)に挿入してください。
*手押しでやりにくい場合は、底板溝にボール等を差し込み送り込ませるようにします。

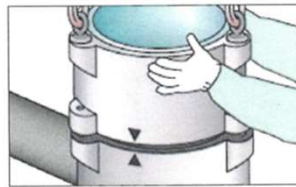


②可とう継手と本管との隙間がないことを確認後、ステンレスバンドを十分に締め込みます。(5~7N・m程度)

4. 直壁・斜壁設置



①管取付壁の上面を清掃し、緊結用腕部に緊結用ボルトを取り付けて、ゴムパッキンをセットします。



②直壁・斜壁を緊結用ボルトに通るようにして設置します。この時、ガイド目印(▲▼)が上下合う様にして下さい。

③締付けナットを締め込みます。この時、ゴムワッシャーのゴム部がワッシャー部と同じ径にふくらむまで締め込みます。

5. 調整リング設置



①斜壁に調整ボルトを取り付けて、調整リングをセットします。調整リング下部にゴムリングをセットするため、充填材等の必要はありません。
②スプリングワッシャーが平らになるまで締め込みます。

6. 鉄蓋設置